



皆様に愛され、信頼される病院を目指します

邑智病院だより 54号

2024/11

発行／邑智郡公立病院組合

新本館棟竣工

4階屋上の展望ホール・リハビリ庭園



おほち
於保知盆地の景色をぜひご覧ください♪

この庭園は屋上という特性を活かし、日光を浴びながら運動やストレッチが可能です。安全に配慮された設計でバリアフリーの設備も整っており、健康を促進する場としてどなたでもご利用いただけます。

開 放 時 間：午前7時～午後9時（午後9時でエレベーター停止）

※エレベーターで4階を押して入場ください

夜間・休日：午後6時以降及び休日は時間外出入口からお入りください。



院長 あいさつ



院長
やまぐち せいじ
山口 清次

公立邑智病院新本館棟竣工

待望の邑智病院新本館棟が（2024年9月）竣工し、10月15日から診療を開始しました。竣工式には丸山県知事をはじめ国会議員、病院組合議員の皆様をはじめ、島根県関係者、島根大学病院、県立中央病院、および邑智郡内関係者等のご列席を賜りました。2017年より病院改革プラン策定、企画、設計、病院建設にかかわってこられた関係各位に心よりお礼申し上げます。

これから旧本館棟の取り壊し、新館棟（現在の館）、新館別棟（B棟）の改築、駐車場整備などを行い、来年（令和7年）秋までにグラウンドオープンの予定です。リニューアルした快適な病院で、今後さらに地域医療に貢献したいと存じます。病院の質向上のために皆様のご協力をよろしくお願い致します。

個人的な意見で恐縮ですが、地域

を守ってゆくためには「邑智ブランド」を高めることも大切だと思います。石見地方以外では「邑智」を「おち」と正しく読めない人も少なくありません。邑智の名を広く知ってもらい、この地方の歴史文化、観光名所なども外部にアピールしてゆきましょう。

全国的に人口減少、少子高齢化が大きな課題となっていますが、政府レベルでは東京一極集中の是正、少子化対策、公官庁や教育研究機関の分散など対策が取られています。一方地方でも、若者の流出を防ぐための産業創出、公共インフラの整備、地域活性化などに知恵を絞らなければなりません。

最近、全国自治体病院協議会などで邑智病院の「管理会計」が注目され、県内外の病院や大学（病院経営学）の先生方が視察に来られるようになりました。今年（2024年）8月には神奈川県議会（厚生常任委員会、15名）が山陰地方の視察の途中で、邑智病院に立ち寄り意見交換しました。

邑智病院は地方の小規模な公立病院にすぎませんが、この地域にはなくてはならない医療機関です。邑智郡内の皆様も病院職員も「おらが町の病院」として誇りを持てる病院になるよう努力していきましょう。

邑智郡公立病院組合議会報告

令和6年10月4日に令和6年第3回邑智郡公立病院組合議会定例会が開催されました。
提出されました議案及び採決結果は左記のとおりです。

提出議案と採決の結果

回	議案の内容	採決
第3回	専決処分の承認を求めることについて	挙手全員
	令和5年度公立邑智病院事業会計決算の認定について	挙手全員
	令和6年度公立邑智病院事業会計補正予算（第2号）について	挙手全員
	邑智郡公立病院組合使用料、手数料条例の一部改正について	挙手全員



〈邑智郡公立病院組合議会〉

議長 原 克美（美郷町）
副議長 植田 昌平（川本町）
議員 鍵本 亜紀（邑南町）
平野 一成（邑南町）
漆谷 光夫（邑南町）
辰田 直久（邑南町）
石橋 純二（邑南町）
藤原みどり（美郷町）
福島教次郎（美郷町）
旗根 正一（美郷町）
石川 達也（川本町）
〈議会運営委員長〉
高良 敏幸（川本町）
高良 敏幸（川本町）
實田 謙（有識者）
高良 敏幸（議員選出）

監査委員

高良 敏幸（議員選出）

企画調整課

令和5年度公立邑智病院決算報告

医事経営課

令和5年度は、泌尿器科医師や麻酔科医師の着任により医療提供体制はより充実しました。外来は発熱患者の減少で受診者数が少なくなりましたが、入院は病床稼働率が89.4%と昨年度に引き続き高稼働となりました。(表①表②参照)

経営の概況としては、医業収益では発熱外来患者などの外来患者の減少並びに新型コロナウイルス感染症に係る病床確保補助金並びに受託関連収益が減少したため、前期比91.3%と減収となりました。医業費用では前期比98.4%となっており、この主な要因としては、感染症関連材料の購入減が影響し材料費が前期比87.8%と大きく減少したためと思われます。給与費は減少(前期比98.4%)、経費は増加(前期比104.9%)しております。医業収支比率は87.4%となり前期比では6.6ポイント減少しました。また、医業外収益では新型コロナウイルス感染症に係る補助金の減収がありました。経常収支比率は104.7%(前期比7.3ポイント減)となりました。(表③参照)

病院事業収益から病院事業費用を差し引いた経常利益は91,458千円で黒字決算となりました。

【病床稼働率の内訳】 急性期病棟：85.4% (+1.5ポイント) 回復期病棟(地域包括ケア)：98.3% (+0.3ポイント)
【分娩件数】 32件 (+1件) 【手術件数】 184件 (+24件)

表①

延入院患者数・延外来患者数増減

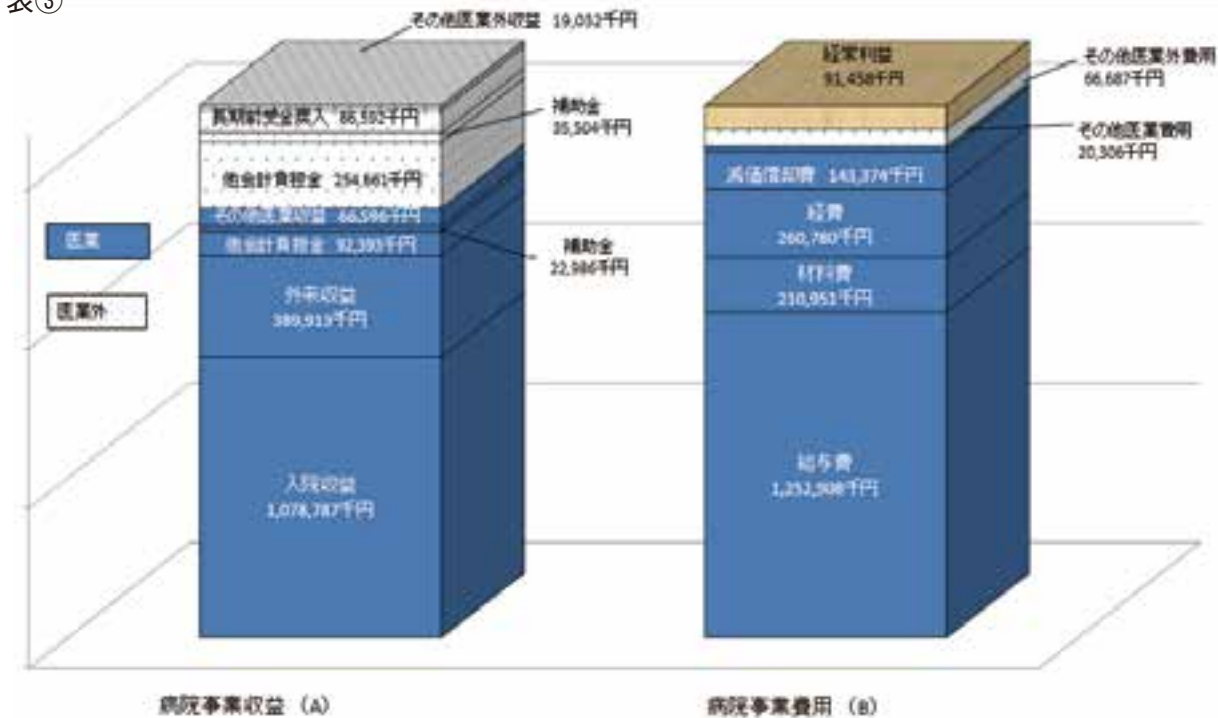


表②

病床稼働率・医業収支比率・経常収支比率増減



表③



病院事業収益 20億4,646万3,906円 (A) 病院事業費用 19億5,789万1,019円 (B)

(A) - (B) 令和5年度経常利益 9,145万7,887円



新本館棟外来待合の様子

10月15日に新本館棟が無事にオープンし、関係された皆様のご尽力ご協力によりまして順調に診療を行うことが出来ております。新しい施設に患者さんが行き交う姿を拝見すると、建設担当者として感慨深いものを感じます。

新本館棟での診療がスタートしました



Vol.10

総務管理課

「本館棟建て替え事業」の進捗を、担当の総務管理課職員がレポートします。



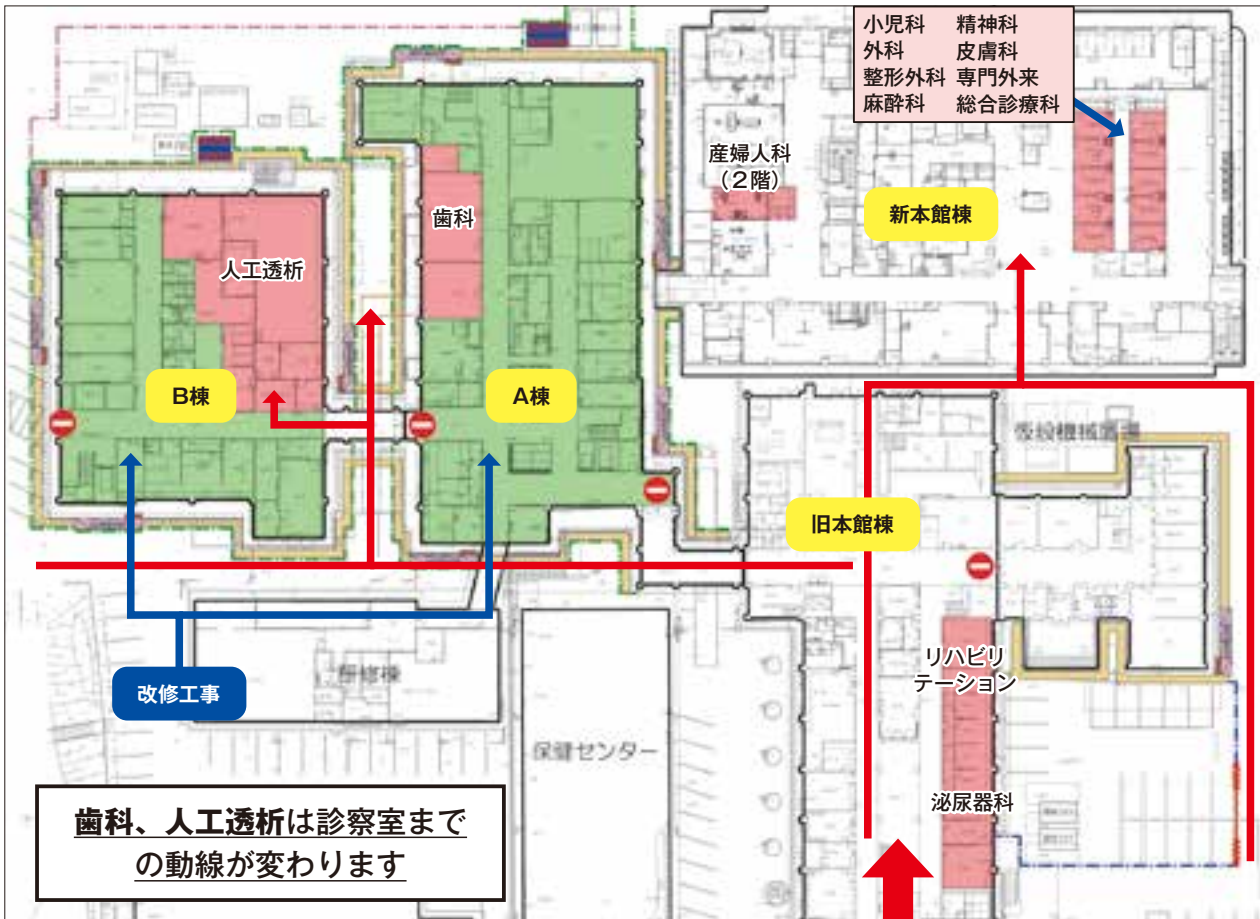
改修工事期間は、既存棟が使用できませんので、泌尿器科やリハビリテーションなどは旧本館棟外来を代替え場所として整備し診療をさせていただくこととなりますので、ご不便をお掛けしますがご理解とご協力をお願いいたします。改修工事エリアや診療場所などを下図でご説明します。

今後の建て替え事業の主な工程は、既存棟の改修工事、旧本館棟の解体、駐車場等の外構整備で、令和7年中に全ての事業が完了しグランドオープンを迎える予定としております。

既存棟のA棟（現 新館棟）は、平成6年に小児科などの診療科を追加するのにあたり増築され、B棟（現 新館別棟）は、平成10年に産婦人科、泌尿器科を増科する際に更に増築されました。この2棟は今後も継続使用する計画で、老朽箇所の修繕や法律で義務付けられたスプリンクラーの設置工事等の改修工事を来春までの工期で進めて行きます。

既存棟の改修工事が始まっています

11月11日からの診療体制



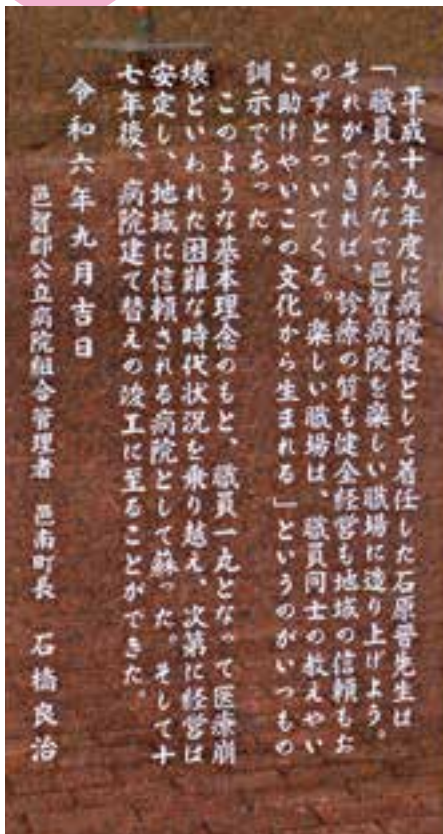
公立邑智病院 新本館棟竣工記念式典



令和6年9月28日に公立
邑智病院新本館棟竣工記念
式典を挙行了しました。
式典には丸山島根県知事
をはじめ総勢120名の来
賓をお招きし盛大に開催す
ることができました。
オープニングでは、地元
の石見あらがね太鼓の皆様
に迫力ある演奏をしてい
たきました。



記念碑除幕式



左から石原晋名誉院長、石橋良治前管理者

公立邑智病院 新本館棟内覧会

1階 救急室



令和6年9月29日に公立邑智病院新本館棟の内覧会を開催しました。
地域の皆様方207名の方に来院いただきました。来院された方は広い待合ホール、屋上のリハビリ庭園や自律搬送ロボットに驚いている様子でした。

1階 外来診察患者待合



2階 ナースステーション



3階 手術室



4階 屋上リハビリ庭園



公立邑智病院 引っ越し事業

作業前に職員で団結式



新本館棟への
引っ越しを行いました！

10/12 - 10/14

医師を中心に患者さんを移送



部屋の配置を検討中…



病院を我が家と思い、部屋の設営



引っ越し業者を入れず職員総出で移動





今回のテーマ

「秋のおでかけに
ご注意を」…ヘビ咬傷



総合診療科
米山 真里菜
よねやま まりな

涼しくなつて秋の訪れを感じる今日この頃ですが、皆さまお出かけの予定は立てているでしょうか。この時期になると山登りや紅葉狩りなどアウトドアに出かけることも多いのではないかと思います。ヘビに出会う機会も多いかと思ひますので今回はヘビ咬傷についてお話ししたいと思います。

日本に生息するヘビは沖縄などの島々を除けばアオダイショウ、ジムグリ、シマヘビなどわずか8

種類です。そのうち2種類が毒蛇で、マムシとヤマカガシがいます。

マムシは日本全土に生息しており、春から秋（特に7〜9月）にかけて活動が活発になります。全長は45〜60cmで頭は三角で銭形の斑紋があり、上顎先端の2本の毒牙から毒が注入されます。田んぼや草むらなどよくみられます。

ヤマカガシは北海道を除く日本全土に生息しており、

全長は60〜120cm、黒と緑の斑模様には赤や黄色など鮮やかな色が混じっておりマムシと比較すると派手な見た目をしています。

平地や山林などにいますがカエルや魚を食べるため、湿地周辺で多く目撃されます。マムシより大い性格をしているのでマムシと比較すると噛まれることは稀です。奥歯に2本の毒牙があります。マムシの毒は人体に様々な影響



日本の毒ヘビ

マムシ



ヤマカガシ



を及ぼします。血液を固まりにくくし、出血しやすくなる作用や細胞を壊す作用があり、噛まれた後から痛みや腫れが出てきます。神経毒でもあるので目の神経に働いて物が二重に見えるたり、ぼやけたりする症状が出ることもあります。毒によって

筋肉の細胞が壊れることで腎臓に負担がかかるため点滴での治療が必要になります。また、症状によっては抗血清薬といって馬から作ら

れたマムシの毒素に対するお薬を使ったりします。

邑智病院

にも毎年数名の受診があります。ヘビに噛まれたときは慌てずに噛まれたヘビの種類や噛み痕を確認し、毒を絞り出すように洗浄し、布などで圧迫し指輪や腕時計をしている場合は外しておきましょう。点滴での治療が必要な場合があるので早めに病院を受診するようにしましょう。

【やむを得ず】

野生のヘビはむやみに触らないようにし、遊びに行くときは靴と長ズボンを履いて自分の身を守るようにしましょう。



悠山亭日記

その7



名誉院長
石原 晋

「教えやいこ 助けやいこ」の巻

このたび新本館棟の落成を記念して石碑が立てられ、「教えやいこ 助けやいこ」と刻まれました。この

碑文は石橋良治前病院事業管理者のご提案によるものですが、実はひと悶着あったのです。当初、管理者の原案は「教えあいこ 助けあいこ」でした。日貫生まれの私は、当地の方言では「あいこ」ではなく「やいこ」であると刷り込まれているので、なかなか折り合いません。邑智郡生まれの職員に片端から質問してみましたが、なんと、地元人の間でも意見が分かれるのです。結局決着がつかぬまま、石橋前管理者が、揮毫者である私に折れて下さり表記の銘となった次第です。建設費用は因原ご在住の勢田房行様の多大なご寄付に拠りました。ありがとうございます。

さて、職場として最も大切なこと

は「楽しい職場」であることだと思います。そのためには、職員同士の「和」がなにより重要です。その「和」を乱す最大の要因が「不公平感」です。「私たちはこんなに忙しいのにあの人たちは暇そう」という空気が職場に不和をもたらし、組織全体の活力を毀損します。この不公平感を解消する手段が「助けやいこ」、つまり余力のある職員は忙しすぎる部門を手伝うということです。

とはいえ病院職員の場合、それぞれに専門性があり、専門の壁を越えて助けあうことが難しい面があります。そこで「教えやいこ」が必要になります。それぞれの職種には、その有資格者にしか許されない業務もあります。職種間で法的資格や守備範囲が重なる部分もあります。採血は看護師も検査技師もできます。超音波検査は検査技師も放射線技師もできます。医師の業務についても特定の研修を経て資格を取得した看護師が医師の業務の一部を引き受けることができます。このようにして、余力のあるスタッフは多忙な部門を手伝うという職域文化を「教えやいこ 助けやいこ」を合言葉に推進してきました。

平成25年からは「邑智病院経営自立プロジェクト」を開始し、この「助けやいこ」を数値化、可視化しました。毎月、Aという部門が、Bという部門をどれだけ手伝ったかを数値化し、B部門の成果の一部をA部門の成果に繰り入れる。この数値を病院の全部門について、月々の全体会議で発表するのです。この「自立プロジェクト」が軌道に乗ったことで、業務の均等化が図られ、経営の改善にも大きな効果をもたらしました。さらに「教えやいこ 助けやいこ」は「帰属意識」の向上という、得難い宝のような効果をもたらしたのです。

ある組織の活力は「構成員のいかに組織への帰属意識を持つか」に規定されます。病院でも、会社でも、学校でもあるいは市町でも国家でも、どのような組織でも同じです。余談ですが、半世紀前の我が国の驚異的高度経済成長、その要因は何だったのか。私は、「終身雇用・年功序列」をよりどころとする「帰属意識」であったと思います。「わが社」を「我が家」と思っ心、俗にいう「愛社精神」です。多くの経営者も「社

員を家族と思う」理念を持っていた。そういう企業文化が我が国を経済大国に押し上げたのです。そのことを最も理解しかつ怖れていたのは、日本の台頭を危惧する米国でした（ジャパンアズNo.1、E.F. Vogel、1979）。その後、米国の圧力と、米国がぶれの市場原理主義者たちによって、この誇るべき我が国の企業文化がとことん貶められ、失われた30年といわれる衰退をもたらすことになってしまったのです。

重ねて申し上げます（年寄りらくどいのです）。邑智病院には宝があります。職員一人一人の帰属意識、病院を我が家と思っ心、これこそが病院の宝であり、地域貢献、健全経営の源泉です。山口清次病院長のもと、この文化が続いていくことを心から願う老兵であります。





友好病院提携

公立芽室病院の最近のうごき



9/8 第3回病院まつりに過去最高の1700人来場

第3回公立芽室病院まつり(木田和宏小児科診療部長実行委員長・実行委員63人)を9月8日(日)に開催し、町民など約1700人が来場しました。「皆でつながろう。皆で広げよう。愛と感謝のWal」をテーマに企画設置した26コーナーは多くの人で賑わいました。

新企画の子ども縁日をはじめ、模擬手術体験や調剤体験、なりきりドクター&ナース、などには多くの子どもたちが集まり、ロコモチェック、血圧測定・血管年齢など健康に関心を寄せるコーナーも人気でした。病院の存在を改めて知る機会となりました。



9/16 クラウド・ファンディングの車両配備

当院は地域包括ケアの拠点として訪問診療・訪問看護・リハビリに出向いていますが、今後さらに訪問ニーズが高まることを想定し、昨年10～11月に訪問車両の増車と地域医療の体制変換への理解を目的としたクラウド・ファンディングを実施しました。

多くの皆様に趣旨へのご理解・ご賛同をいただき、目標額600万円を超える合計704万円を達成しました。念願の新車3台の納車にスタッフ一同で喜び合うとともに、さらなる事業の充実化を目指しています。

9/24 邑智郡町村会来院視察

友好病院提携の縁から 嘉戸隆町村会長(美郷町長)をはじめ石橋良治邑南町長、野坂一弥川本町長が当院を訪問視察され、手島旭芽室町長、研谷智院長をはじめ職員と懇談しました。

本町の概要や当院の経営改革の取り組みなどを説明し、今後に向けてさらなる交流を誓い合いました。



9/28 新本館棟竣工記念式典に研谷院長・岡山総看護師長が参列・感想

公立芽室病院 研谷智院長

式典では、地域の方々の新病院にかけける期待の大きさを感じましたし、それに間違いなく応えられる素晴らしい病院を見せていただきました。さらに邑智病院の素晴らしいスタッフがいるかぎり、貴地区の医療は安泰と思いました。また、式典において当院との友好病院締結を紹介する場をいただきありがとうございました。これから友好病院としての交流を深めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

公立芽室病院 岡山有美子総看護師長

爽やかな秋晴れに恵まれ、新本館棟は太陽の光を受けて輝き、その凛とした佇まいからは職員の達成感や未来への希望が伝わってくるようでした。患者さまと職員の負担に配慮した環境、医療DX推進など、全国の地域医療のモデルになると思います。職員からは、地域住民・病院・仲間への愛が伝わり、人も魅力にあふれており大変感動しました。友好病院の名に恥じぬよう邑智病院様の後を追い、我々もさらに頑張っていきたいと思っています。



功労者表彰

● 公立邑智病院を支援する会事務局長

日野 原哲夫 氏

日野原氏は11年の長きにわたり公立邑智病院を支援する会の事務局長を務められ病院の発展に貢献されました。

● 邑智郡公立病院組合監査委員

(有識者) 實田 讓 氏

實田氏は20年の長きにわたり邑智郡公立病院組合の監査委員を務められ病院経営に貢献されました。

● 公立邑智病院名誉院長

石原 晋 医師

石原医師は院長としての8年間で病院運営を向上させ今日の公立邑智病院経営安定化に貢献されました。

石橋管理者退任



平成16年から20年間邑智郡公立病院組合管理者として従事されました。10月28日に開催しました退任式では、「新本館棟が完成した。これは病院にとって出発点である。今後職員で邑智病院を発展させてもらいたい」と将来への期待を述べられました。

リハビリ通信

「睡眠と運動の関係」



リハビリテーション科
理学療法士

日野 司

少しずつ気温も下がり秋らしくなってきました。気温が下がり寒くなってくると眠りに入るまで時間がかかり、睡眠時間が不足する方もおられるのではないのでしょうか。

人は睡眠不足になると注意力、集中力、判断力の低下、イライラや不安感の増大、うつ症状のリスク上昇、記憶力の低下、免疫力の低下、代謝の乱れ、心血管系の問題、パフォーマンスの低下など、心身に多くの悪影響を及ぼすと言われています。今回は睡眠と運動の関係についてお話しします。

睡眠の質と運動時間には密接な関係があり、運動は睡眠の質を向上させるために重要です。運動は就寝の3時間前までに行うことが理想的とされています。また、定期的な運動(週に150分程度)を行うことで、睡眠の質が向上し、深い睡眠を得やすくなります。さらに、日中に最大

酸素摂取の60%の強度の運動を30分〜60分行うことで、夜の睡眠時間は短くても質の良い睡眠がとれ、睡眠の安定性が高まります。

「睡眠の質を改善する効果がある運動」

①長時間続けられる有酸素運動

- ・ウォーキング
- ・ノルディックウォーキング
- ・ジョギング
- ・水泳 など

②リラックス効果を得られるためのストレッチ

これに対して、激しい運動は、ストレスホルモンの分泌を増やし、睡眠困難や中途覚醒を引き起こし、熟睡の妨げとなり不眠の悪化に繋がってしまつたため注意が必要です。なお、睡眠の質の変化には個人差があります。

これから冬季に向かっていきますので、ウォームアップや体を温めながら寒さに注意して、運動や日々の活動を取り組んでいきましょう。



「サポートセンターおおち」

「職場紹介」

しています。

管理者 山口 美奈子

社会福祉法人わかば会は、邑智郡美郷町・川本町を拠点とし、障がい福祉サービスの事業を展開しています。事業内容は入所支援、介護支援、就労支援、共同生活支援、障がい児支援、余暇支援、相談支援とあり、ご利用者お一人ひとりの個性を活かし、社会の中で自分の役割を持ち、自分の居場所を作りその方々らしい豊かな生活が送れることを目指して日々支援をしています。

公立邑智病院をはじめ地域の拠点病院の地域連携室と連絡調整を中心に外来受診、入院時における相談・連携をさせていただいております。皆さんが地域で自分らしく生活できるよう応援していきたいと思っています。お気軽にご相談ください。

サポートセンターおおちは、障がいのある子供さんや成人の方のサービス利用についての計画相談、地域移行支援、地域定着支援、一般相談の中で皆さんの困りごとの相談にのり、関係機関との連絡調整等を行います。



公立邑智病院附属市木診療所開所！

10月1日に開所式が開催され、10月2日から診療を開始しております。
市木診療所の予約はTEL 0855-85-0070までご連絡ください。

診療日：毎週 月・水・金 受付時間：14:00～16:30

※祝日及び年末年始（12月29日～1月3日）は外来診療を行っていません。

職員募集中!!

「邑智病院で働いてみたい!!」という方!!
ご相談ください!⇒**事務部企画調整課**まで
※見学も可能です

看護師

看護アシスタント

事務補助員

調理員



採用試験を含む病院の情報をホームページに掲載していますのでご覧ください。instagram・facebookでも積極的に情報の発信を行っていますのでフォローをお願いします。



Instagram



Facebook

お問い合わせ先

邑智郡公立病院組合 公立邑智病院
TEL 0855-95-2111 FAX 0855-95-2313
〒696-0193 島根県邑智郡邑南町中野3848-2

ホームページアドレス
<https://www.ohchihospital.jp>

邑智病院 検索

病院基本方針

- ① 患者さんを家族と思い、良質で親身な医療を提供します。
- ② 職員同士がお互いのやりがいと誇りを尊重しあう、暖かい職場をつくります。
- ③ 明るく清潔で快適な療養環境の維持向上に努めます。
- ④ 地域に信頼されるよう、健全な経営に努めます。



ホームページへ